

はじめまして。この本の著者、亀井理香と申します。

ごく普通に生まれ、ごく普通に育ち、ごく普通に結婚して、ごく普通の主婦をしておりまして。

45歳まで牛井屋さんでパートをしながら、育児や家事に奮闘する日々を、当然のように送っていた私が今は、美容整骨師としてサロンを構え、経営者として奮闘しております。

ごく普通の主婦が、今や「先生」と呼んでいただけるといふ摩訶不思議な出来事に、私自身がいまだに驚いています。その突拍子もない人生の分岐点については、後ほど、お話ししますね。

45歳の時に整骨院併設のエステサロンを手伝うようになって、毎日たくさんの方の顔を触らせていただきました。顔を触っているうちに、身体もほぐさなきゃ本当のリフトアップはできないのだと気付き、ネット検索で探しまくって、ボディリンパ系の施術を習得。

身体を触らせていただくようになると、ほぐしきれない筋肉が私の前に立ちはだかりました。どうすればほぐしてさしあげられるんだろうと模索している時に出会ったのが「美容整骨」でした。

「これ絶対、習いたい！」

もう、まさに直感。その直感に従って正解でした。

業界初の技術「美容整骨」。

「美容整骨」は、美容のための骨格矯正技術で、今まで分けて考えられてきた、女性の美容に対する悩みと健康に対する悩みの両側面から効果的にアプローチできる技術です。

美容と健康は切り離せないもの。

顔はエステサロン、髪はヘアサロンに行き、身体はジムに通い、サプリメントを摂取し、時にはリラクゼーションサロンでボディー磨きも。ホームケア用の美顔器、ホームケアのフェイシャルメソッド本、次々と売り出される化粧品。

「あれがいいみたい」と耳にすれば使ってみたくなる、通ってみたくなる。しかし、はじめの感動はじきに薄れて、「もつといいもの探し」の旅を始める。いわゆる美容ジプシー。

美意識の高い人ほど、それにかかる時間と費用は膨大です。

でも、皆さん、忘れていませんか？

皮膚を磨きあげ、筋肉を鍛えあげ、ツヤサラ髪をなびかせても、猫背やO脚では台無しです。今一度、鏡と向き合ってみてください。

あなたの眉の位置や目の位置、小鼻や口角の位置は左右対称ですか？ 顎先は顔の中心に来ています

か？ 首の角度はまっすぐですか？ 両肩の高さは左右揃っていますか？ 両膝の間に隙間は空いていませんか？

顔も体も、全てが左右対称の人は、いないに等しい。骨の歪みが、その原因。

そう、皆さんが忘れていらっしやる、というよりご存じなかった、考えもつかなかった美容と健康の土台こそが「骨」なのです。

骨を動かすと聞いて「痛いんですよ？ 痛いの嫌い」と、おっしやる方が大多数です。それも仕方ありません。テレビで取り上げられている手技は本当に痛そうですから！

その手技を受けているタレントさんが悲痛な叫び声をあげ、もがき暴れている様子を目にした人は多いんじゃないでしょうか？

痛みに耐え抜いて、疲労感たっぷりで鏡を見たタレントさんは皆、こう言います。

「うわあ！ めっちゃ変わってる！」

先ほどまでの苦痛は、どこへやら。バランスが整って、スッキリパツチリした顔に大満足で、ご満悦で、大絶賛。

「痛いから効果がある」という間違った認識が、世に広がってしまった要因のひとつです。

美と健康を手に入れていただくのに「痛み」は必要ありません。

美容と健康の土台である「骨」を整えるのに力はいらないのです。むしろ、力を抜けば抜くほど効果が現れやすいのが美容整骨。受ける人が、いつの間にか気持ちよく眠りについてしまわれるほど優しい手技で、骨格は矯正できるのです。

「日本人を世界一憧れられる美骨美人にする」という理念のもと、骨のプロフェッショナルである柔道整復師が用いる、独自の施術技術をもとに開発された、美容のための骨格矯正技術「美容整骨」を、多くの人に知っていただきたい。

受ける側だけでなく、施術する側をも感動させてくれる「美容整骨」を知っていただくことで、自身が美しくなるだけでなく、「私も美容整骨師になりたい」と思う人が増えてほしい。

美容も経営も素人だった45歳の主婦が、わずか3年でサロンオーナーになるまでの道のりを交えながら、美容の仕事の魅力と、美容整骨の魅力をお伝えしたいと思います。

亀井 理香